【参考】コンテスト形式でアイディアを募る

開発したGPTsは自由に公開できるため、有効な農業GPTsを創作して普及することが可能。
コンテストやハッカソンを開催して、農業に直接関わっていない人々も農業へ関わるきっかけに。

＜農業GPTsコンテストの事例※1＞

業界初！「農業GPTsコンテスト」で農業界に革命を巻き起こす

コンテストの勝者にはBlockcerts規格のオープンバッジの付与も

株式会社農情人　2023年11月22日 09時01分

株式会社農情人（本社：千葉県船橋市、代表取締役：甲斐雄一郎）が運営する農業web3コミュニティ「Metagri研究所」は、業界初（※）となるオリジナルのChatGPTが作れる「GPTs」と農業を組み合わせた「MetagriGPTsコンテスト」を開催します。
このコンテストは、GPTsの革新的なテクノロジーと農業の融合を目指し、新しい農業の未来を切り開くことを目標としています。優秀者にはblockcerts規格のオープンバッジで「MetagriGPTs」の称号が贈られます。
（※）当社調べ（2023年11月末現在）

- コンテスト概要

MetagriGPTsコンテストは、参加者がGPTsを活用して農業関連のアイデアやソリューションを開発するイベントです。このコンテストでは、農業管理の効率化や高付加価値を生み出す革新的なアプローチが期待されています。

■目的
コミュニティメンバー同士が協力し、共に学び合いながら新しい技術を習得し、創造的なアイデアを生み出すことが目的です。自己のスキルアップを図り、コミュニティ全体の成熟度の向上と、農業界における新しい可能性を開拓することを期待しています。

■テーマ
農業技術やサービスに関連した「GPTs」の作成
例） 農業管理を効率化する「Farm Automation GPTs」

■審査基準
・革新性: 農業の伝統的なプロセスをどのように改善するか
・実用性: 実際の農業現場での実装可能性
・時間効率の改善: 作業時間の削減やプロセスの効率化
・付加価値の創出: 製品やサービスにどのように価値を加えるか
・事業性: 市場の需要やトレンドへの適応度
・創造性: 従来の農業モデルにどのような新しい要素を導入するか

※1 引用：「農業GPTsコンテスト」で農業界に革命を巻き起こす
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000064.000087046.html

Copyright © 2023 NouJouJin All rights reserved. This Proposal is Proprietary and Confidential to NouJouJin

３．web3と農業の可能性

農業の常識を超越するweb3活用戦略

３．注目が高まり続ける「web3」

２０２１年１２月……、
ある言葉の検索数が一気に高まり始めた。
その言葉こそ、本日のテーマである「web3」である。

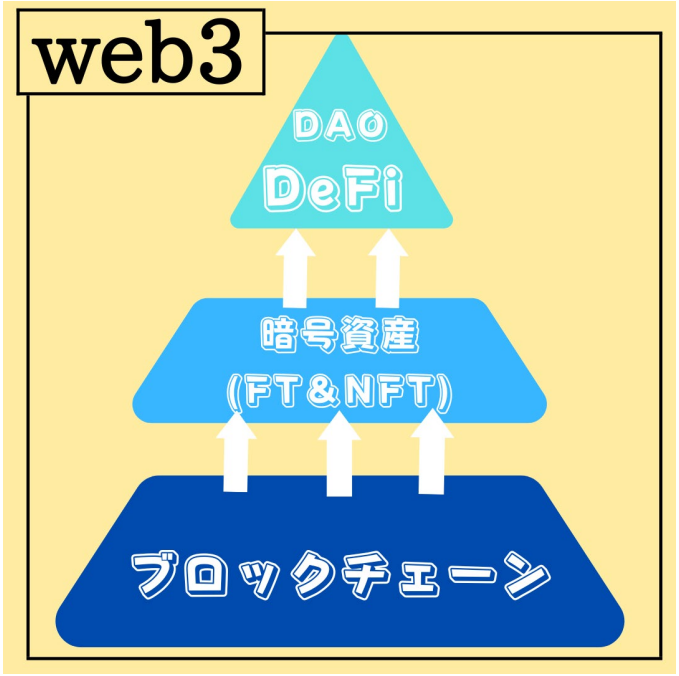
Copyright © 2023 NouJouJin All rights reserved. This Proposal is Proprietary and Confidential to NouJouJin

3．「web3」の定義

web3はブロックチェーンを土台とした中央集権からの脱却を目指した動き。

- ✓ ビットコイン（BTC）を筆頭とする「暗号資産」
- ✓ アートやゲーム業界で話題の「NFT（Non-Fungible Token）」
- ✓ 社長不在の組織「DAO（Decentralized Autonomous Organization）」
- ✓ 中央の管理者がいない金融システム「DeFi （Decentralized Finance）」

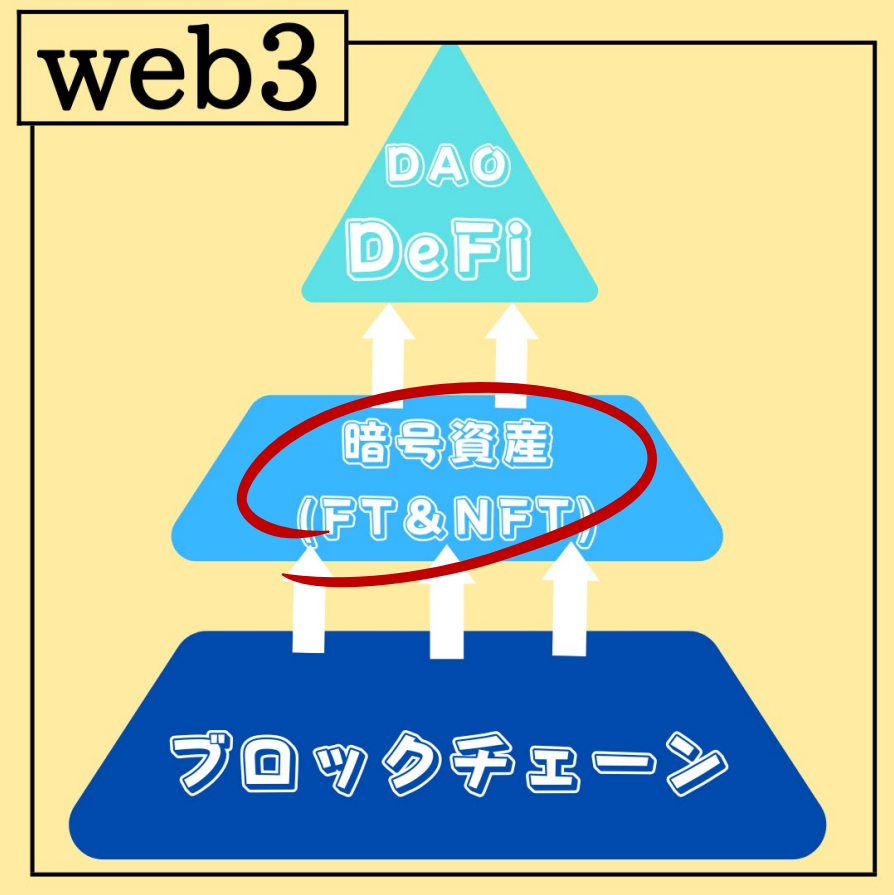
＜web3の図解イメージ＞



Copyright © 2023 NouJouJin All rights reserved. This Proposal is Proprietary and Confidential to NouJouJin

3． web3のキーワード「NFT」

web3の土台となるブロックチェーン技術により、お金のやりとりをP２Pで実現。
アートやゲーム業界で話題の「NFT（Non-Fungible Token）」が注目を浴びる。



Copyright © 2023 NouJouJin All rights reserved. This Proposal is Proprietary and Confidential to NouJouJin

3．農業とweb3：NFTのよくある３つの誤解

農業分野におけるNFT活用は、以下の３つの用途が有効と考えられている。
しかし、これらの用途はそれぞれに課題が存在し、現段階での実現性はまだ低い。

✓ **①ブロックチェーンとトレーサビリティの掛け合わせ**
誤解: 農産物のトレーサビリティにブロックチェーン技術を導入して農家に貢献。
現実: 生産～出荷～流通過程にブロックチェーンを導入するのは技術や費用対効果も不明確。
日本における既存の安全な農産物流通体系があり、付加価値が限定的。

✓ **②農地の権利とNFTの紐付け**
誤解: 農地の権利をNFTで小口化して権利を分割できる。
現実: NFTは土地の所有権を表すものではなく、利用権やチケットに近い。
また、法律的な面で農地NFT化は権利保証が難しく、個人農家には管理が困難。

✓ **③種苗の権利保護とNFTの結び付け**
誤解: 種苗の権利保護をNFTで管理できる。
現実: 種苗の権利をNFT化して管理するには
「法的枠組み」「共通規格の確立」 「技術的進展」が必要。

Copyright © 2023 NouJouJin All rights reserved. This Proposal is Proprietary and Confidential to NouJouJin